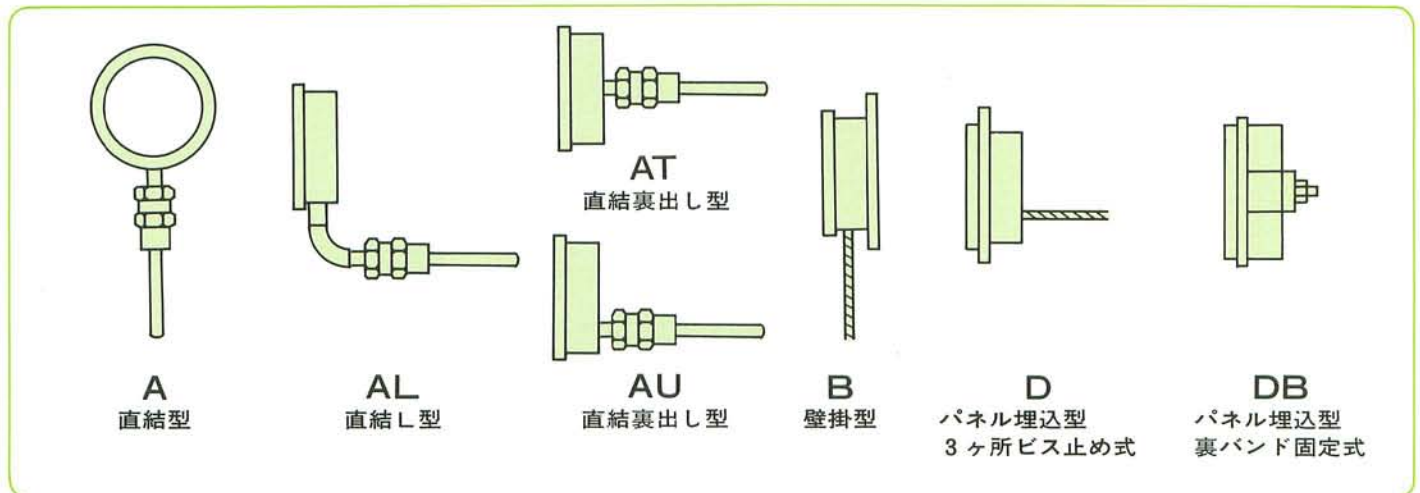


適当な機種のお問合せ、選定には下記の要点を参考にして下さい。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 計器設置場所     | 屋内、屋外、防湿、振動の有無。  |
| 2. ケースの大きさ・型式 | 大きさは文字板の直径で表わします。型式は計器部を装置機器への取付方法別です。   |
| 3. 温度範囲       | 常用温度の位置は最高目盛の約7割迄が最適です。  |
| 4. 誘導管(リード線)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●長さの変更は製品の構造上、完成後は出来ませんので、あらかじめ正確な寸法をお決め下さい。</li> <li>●材質は感温部を取付ネジで固定して使用する場合は銅管で充分ですが、投込型及び腐蝕性ガスの発生する場所での使用には必ずステンレス(SUS304)製を御使用下さい。</li> <li>●ガス封入式では単管で30m迄製作可能です。</li> </ul> |
| 5. 感温部        | 形状はP 5, 6 参照。感温必要最短寸法に御注意下さい。P 3 参照。長さはネジ下寸法が標準です。   |
| 6. 感温部固定方法    | 形状材質の指示を願います。接液部ステンレス仕様という場合は固定ネジも含まれます。P 4 参照。  |
| 7. 電気接点装置     | P 13~24参照、警報調節の有無。   |
| 8. 記録装置       | P 29~31参照。   |
| 9. 赤置針装置の有無   | 常時一定温度の管理をする際、文字板上の赤置針は目やすとして便利です。   |
| 10. 保護管       | P 6 参照、材質、ライニング・コーティングはP 2を参照して下さい。<br>食品関係装置には出来るだけ御使用下さい。  |
| 11. 被測定物に関して  | 名称、成分、流動状態、圧力の有無。<br>耐酸用として各種保護管及びメッキ用温度計P 32が有ります。  |
| 12. 検査成績表     | 御希望により作成致します発注時に御指示下さい。  |



以上不明の点は担当係員へ御相談下さい。

製品の仕様、寸法、外観は改良のため変更している場合がありますので、販売担当者にお確かめください。  
また、本カタログに掲載されていない商品についてもお気軽にご相談ください。